



ハイライト

- 11月13日に、東京交通会館において、山口・九州・沖縄移住相談会が開催され、石垣市、久米島町、沖縄県の3ブースが出展しました。
- 久米島町で、移住体験ツアーを開催しました。
- うるま市島しょ地域の移住・定住促進へ向けた取組みについて紹介します。

11.13 山口・九州・沖縄移住フェアへ出展



山口・九州・沖縄地域おこし協力隊&移住フェア 東京交通会館 12階カトレアサロン



11月13日(日)に「山口・九州・沖縄地域おこし協力隊&移住フェア」が東京で開催され、9県から約57自治体が出展し、146組、205名の方が来場しました。

沖縄県からは、石垣市、久米島町、沖縄県の3ブースが出展し、延べ28組42名の方が移住相談に訪れました。

地域おこし協力隊募集も同時開催のため、セミナー会場でも各県、地域おこし協力隊を募集する内容が多く、移住相談の来場者は少ないように感じました。

今回の相談者は、沖縄を好きという人が多く、転職の度に沖縄への移住を検討している方や、一度移住して戻ったものの、再度沖縄へ移住したいと検討している方からの相談もありました。

目次

11.13 山口・九州・沖縄移住フェアへ出展	1
移住体験ツアー@久米島町	2
うるま市島しょ地域の移住・定住促進への取組みがスタート!	2
うるま市島しょ地域の活性化を目指し、様々な取組みを実施中!	2
ひと紹介コーナー	2

○今後の予定○

【世話役養成塾】

- 第3回
12月6日(火) 南部
12月7日(水) 北部
- 第4回
H29年1月(市町村職員、世話役合同研修会)

【移住フェア(東京)】

- H29年1月14日(土)
沖縄移住相談会
- H29年1月15日(日)
JOIN移住・交流フェア
【おきなわ移住相談会】
- H29年2月
東京国際フォーラム

【移住体験ツアー】

- H29年2月
石垣市、宮古島市
【移住シンポジウム】
- 12月6日(火)
県立博物館・美術館講堂

移住体験ツアー@久米島町

11月10日～12日の2泊3日の日程で、久米島町で移住体験ツアーが開催されました。住民を含めてどのような移住者を受け入れるべきか検討し、現在久米島に不足している看護師、保育士などに職種を限定したところ、3組6名の方がツアーに参加しました。

参加者からの要望により、地元の学校へ1日体験入学をしたり、急遽旦那さんと一緒に求人企業へ説明を聞きに行くなど、これまでにない移住体験ツアーとなりました。

久米島町では、地域おこし協力隊による島ぐらしコンシェルジュを設置し、移住施策に積極的に取り組んでいます。今回のツアーを通じて、移住者の受け入れに必要な地域が果たす役割や移住希望者の率直な意見を聞くことができたので、今後更なる取り組みがなされることを期待しています。



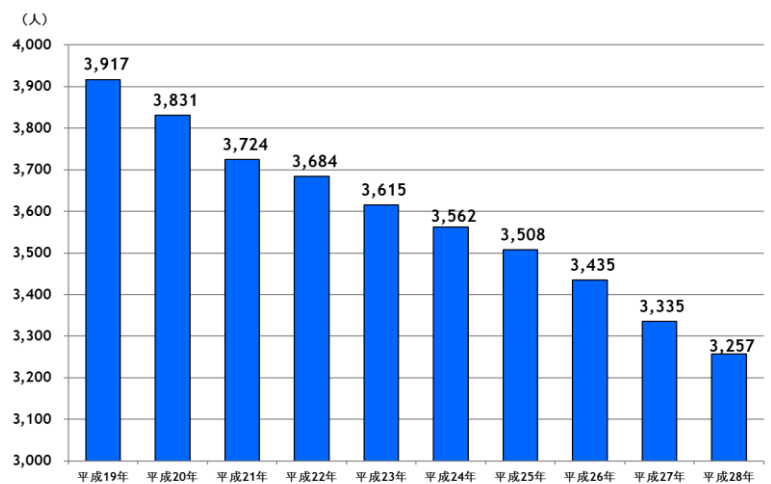
うるま市島しょ地域の移住・定住促進への取り組みがスタート!

うるま市では、市全体の人口は伸び続けていますが、島しょ地域(平安座島、宮城島、伊計島、浜比嘉島、津堅島)では、若者の流出と出生数の低下により、急激な人口減少(10年間で約15%減少)となっています。また、島しょ地域では、空き家の増加(全世帯の約1/4)も大きな課題となっています。

そこで、うるま市では、平成27年度に市全体編とは別に、島しょ地域の人口ビジョンを策定し、島しょ地域における著しい人口減少に歯止めをかけることを目標に掲げ、市総合戦略の中に島しょ地域に重点化した施策を盛り込みました。

その一環として、今年度より、島しょ地域の空き家を活用した移住施策の推進に取り組むための基礎調査として、空き家の実態調査を行っています。今後は、この調査結果を基に、空き家バンクの開設や移住希望者への情報提供・発信を行っていきたくと考えています。

【うるま市島しょ地域人口の推移】



うるま市島しょ地域の活性化を目指し、様々な取り組みを実施中!

うるま市島しょ地域では、平成27年度より地方創生の交付金を活用し、持続可能な地域社会を目指した「島しょ地域活性化事業」を実施しており、その中で地域住民の意識啓発や地域資源を活用した観光・特産品商品の開発、学校跡地や空き家を活用したイベント(たかはなり・島あしび(旧宮城中学校跡地)、島のクラフトピクニック in 浜比嘉島伊計島(旧浜中学校跡地及び島内空き家)等、地域の活性化に係る様々な取り組みを行っています。こうした取り組みと連携しながら、島しょ地域へ移住者を呼び込んでいきたいと考えています。



“ひと紹介コーナー” うるま市企画部企画政策課 政策調整係 主事 伊佐 義永

うるま市では、今年度より島しょ地域の移住・定住施策に取り組むばかりです。島しょ地域には豊かな海や沖縄らしい原風景を残す町並み、伝統芸能・文化や農水産物など、域外からの人を惹きつける多くの魅力を持っており、実際に移住希望者からの問い合わせも度々あります。しかし、現在は受入れ体制が整っていないため、そうした問い合わせに対応できていない状況です。そのため、今後は移住希望者の受入れ体制を早期に整え、島しょ地域の魅力を上手く発信しながら、島しょ地域の活性化を図っていきたくと思います。

